



江別ユネスコ協会事務局だより 2017年1月20日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:辻本 ☎381-1069)

「日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台」に参加しましょう

2017 年度の日本ユネスコ運動全国大会は、機関誌「ユネスコ」1155 号（1 月号）で告知されたとおり 7 月 15 日と 16 日の両日、仙台市青葉区の仙台国際センターにおいて、日本ユネスコ協会連盟、宮城県ユネスコ連絡協議会、仙台ユネスコ協会の主催で開催されます。会員多数のご参加をお願いします。参加申込みの方法は「ユネスコ」1155 号に添付された開催要項に従って、参加者が各自で手続きをしてください。第 1 次締切は 2017 年 4 月 21 日（金）となっています。それ以降の申込み者は参加者名簿にお名前が載りません。また、宿泊の紹介、復興応援エキスカッション、懇親会など、数に限りのあるお申込みは、先着順で受け付けますので、早めに手続きをお願いします。

民間ユネスコ運動は、第 2 次大戦後まもない空襲廃墟と化した仙台の街で、上田康一氏という 1 人の終戦処理行政官の決意と行動によって始められました。彼は仙台の熱意ある有識者を結集し、1947 年に「仙台ユネスコ協力会」を設立して、この国際平和を願う運動の創始者となりました。

民間ユネスコ運動の発祥の地・仙台で、その 70 周年を記念して開かれる全国大会に、皆様ふってご参加ください。申込書用紙を紛失した場合などは、当協会事務局にご相談ください。

次のユネスコ無形文化遺産の候補は「秋田のナマハゲ」など！

無形文化遺産保護条約にもとづき、2016 年の登録について審議するユネスコの政府間委員会（委員国 24）が、エチオピア国アジスアベバで開催されて、11 月 30 日、日本が推薦した「山・鉾（ほこ）・屋台行事」の登録を決めました。登録の対象は「高山祭の屋台行事」など全国 18 府県の 33 行事で、地域社会の安泰を願い、地元文化の粋を凝らした美しい「山・鉾・屋台」を引き回す祭礼行事です。33 行事の一括登録を申請したので、成り行きが心配でしたが、無事承認されました。

次の登録をめざすのは、秋田県の「男鹿のナマハゲ」、岩手県の「吉浜のスネカ」、宮城県の「米川の水カブリ」、山形県の「遊佐の小正月行事」、石川県の「能登のアマメハギ」、佐賀県の「見島のカセドリ」、沖縄県の「宮古島のパーントゥ」の 7 件に、すでに 2009 年に単独で登録された「こしき島のトシドン」（鹿児島県）を加えた 8 件を一括して「来訪神—仮面・仮装の神々」という名称で登録申請が行われています。各国の申請が溜まっているので、2018 年秋の審査に回されそうです。

このナマハゲ・グループが登録されても、日本の登録数 21 件は変わりません。「こしき島のトシドン」が削除されるからです。ちなみに登録数の第 1 位は中国、2 位は日本、3 位は韓国です。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は登録されるか？

世界遺産候補「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と名称を変更して、2018 年の登録をめざすことになり、今月中に正式推薦書をユネスコ世界遺産センターへ提出して、今秋改めてイコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査を受けることになりそうです。順調に行けば、来年 6 月頃の第 42 回世界遺産委員会で審議されるでしょう。

なお、2017 年の登録をめざす「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、2016 年 9 月 8 日にイコモスから派遣されたクリフトフ・サンド氏（ニューカレドニア）による現地調査を終え、2017 年 7 月にポーランド国クラクフで開かれる第 41 回世界遺産委員会で審議される手筈になっています。

「杉原リスト」と「上野三碑」を「世界の記憶（記憶遺産）」に申請！

日本ユネスコ国内委員会は、2015 年 9 月にユネスコの「世界の記憶（旧世界記憶遺産）」事業に登録される物件として「杉原リスト」と「上野三碑」の 2 件を選定し、日本政府は 2016 年 5 月にユネスコに申請しました。2017 年 7 月頃に開催されるユネスコ国際諮問会議で登録の可否が審議されます。これまで日本からは「山本作兵衛の炭坑記録画」など 5 件が登録されています。

